

オオキチくん通信

こんにちは！オオキチくんです。
9月になるとアカトンボをたくさん見かけるようになります。オオキトンボもアカトンボのなかまだよ！

協力：風早活性化協議会

2019年9月号

発行：NPO森からつづく道

URL:<http://morimichi.org/>

★上記HPからダウンロードできます

独立行政法人環境再生保全
機構地球環境基金の助成を
受けて作成しています。



帰ってきた！オオキチくん

成熟(せいじゆく)したオオキトンボは、9月中旬になると、交尾(こうび)や産卵(さんらん)のためにため池にもどって来ます。オスは水辺のかれ枝などにとまり、なわばりをはってメスを待ちます。



ナニワトンボ



リスアカネ
© Leo TAKECHI



ため池でなわばりをはる♂ 2016年10月10日

北条で見られるアカトンボのなかま

“アカトンボ”とは、アカネ属(ぞく)というグループのトンボのことです。体は赤色だけでなく、青色や黄色の種類もあります。また、アカトンボというと秋のイメージが強いですが、じつは初夏に羽化(うか)します。秋になると産卵などのために水田やため池に集まるので目につきやすく、秋のイメージが強いのかもかもしれませんね。



アキアカネ
© Sadatomo HISAMATSU



マユタテアカネ
© Leo TAKECHI

☆番外編☆ アカトンボじゃないよ？ ウスバキトンボ

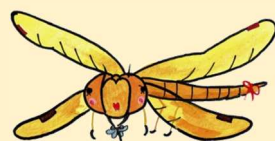


体が赤いのでアカトンボのなかまとまちがわれることが多いトンボ。世界各地に広く分布(ぶんぷ)しています。日本へは、毎年4月ごろに東南アジアなどから飛んできます。お盆(ぼん)のころに最も数がふえ、水田の上などでむらがって飛んでいるのを見かけます。寒さに弱く、日本では南西諸島より北では、越冬(えっとう)できません。

(久松定智)

風早トンボサミット2 かいさい決定！

北条には、オオキトンボをはじめ、めずらしいトンボがいます。でも、全国的には、トンボの数がへっているだって！こまったな～！



そこで、トンボに詳しい人に集まってもらって、トンボのおもしろいところや、守る活動についてお話しをしてもらおうことにしました。ぜひ、来てください！

【とき】10月5日(土)午後1時～4時

【ところ】北条ふるさと館 (参加無料)

★昆虫写真家・尾園暁(おそのあきら)さんのお話「日本のトンボ・松山のトンボ」

★広島のみやじまトンボのお話

★香川県の王越(おうごし)トンボランドのお話

★風早のオオキトンボの里づくりのお話

◎くわしくは、森からつづく道のHPやチラシを見てね！

あのムシは今?!【コクワガタ】

♂は大きくて
5cmほど



アラカシの樹液に来ている様子

クワガタムシといえば真夏をイメージしますが、コクワガタは初夏と秋に多く見られる種です。カブトムシなど大型の昆虫が少ないからかもしれません。それとも、暑さが苦手なだけ? (武智礼央)



風早にすむカエル③
ツチガエル

せなかのいぼが目立つので、「いぼがえる」とよばれることもあります。つかまえるとひふからねん液(えき)を出すけれど、そんなにくさくはないらしい。6月号で紹介したヌマガエルによく似ていますが、おなかにまだら模様があります。風早ではずっと見つからなかったのですが、昨年発見されました。

ちょっとこわ〜い蚊(カ)のはなし



できるだけ蚊に
さされないでね!

(若山勇太)

- ・蚊は足が6本なのでオオキトンボやカブトムシなどと同じ昆虫です。
- ・昆虫の中でもハエのなかまです。
- ・血を吸(す)うのは雌(メス)の蚊だけで雄(オス)は血を吸いません。
- ・黒い蚊は昼行性で待ちぶせタイプ、茶色い蚊は夜行性で徘徊(はいかい)タイプです。夜中に耳元でプ〜んって飛ぶのは茶色い蚊(アカイエカ)です。

<病気をうつす蚊> 病原体(びょうげんたい)のウイルスを蚊が媒介(ばいかい)します。

デング熱
(蚊⇒人)

ウエストナイル熱
(鳥⇔蚊⇒偶然に人)

日本脳炎
(豚⇔蚊⇒偶然に人)



ヒトスジシマカ



オオクロヤブカ



アカイエカ



コガタアカイエカ

昼行性

夜行性

<蚊はこんなところでふえるよ!> 蚊がふえないように、みんなで気を付けよう!

- ・ すてられた鍋(なべ)、空きカン・ビン、はっぼうスチロールの箱、カップメンのカップ
- ・ 庭に置きっぱなしのおもちゃ
- ・ 水のたまったバケツや古タイヤ
- ・ 草の多い水たまり
- ・ ゴミだらけの溝(みぞ)など

風早の景色



7~8月、ため池で羽化したオオキトンボは、空にまい上がり飛び去りました。9月にはぶじに産卵しに帰って来てほしい。暑い夏の1~2か月をどこですごしたのだろう?



今月の花 ★ キツネノカミソリ

ヒガンバナのなかまの多年草(たねんそう)です。明るい林や林のふち、人里に生育し、夏にくきをのぼして花をつけます。ヒガンバナと同じく毒(どく)があります。ちかい種類におしべが長く突き出るオオキツネノカミソリがありますが、山地で見られます。

ちょっと
いっぶく

ちょ〜カワイイ★カヤネズミ



大人の親指ほどの日本最小のネズミ。ススキなどの葉で丸めて巣を作る。2015年粟井、2016年佐尾池、2017年田村池(写真)で巣を見つけたが、今年も元気かな?

Copyright free

そうやったんかい! 外来生物 ⑥



ヒガンバナ

ヒガンバナ科の多年草で、古い時代に中国から来た帰化(きか)植物(史前帰化植物)。里山やたんぼのあぜなどに生え、9月のお彼岸(ひがん)のころに花を咲かせます。別名はマンジュシャゲ。毒(どく)がありますが、昔はきんのときなどに食べたこともあります。花にはキアゲハなどのアゲハ類が訪れます。